

# 平成30年度 町立中標津病院 新経営改革プラン 実績

改革プランページ

## P16 【医療機能等指標に係る数値目標】

		計画	実績	比較
町外患者受診割合(%)	外来	41.0	31.9	▲9.1
	入院	42.0	30.5	▲11.5
救急患者数(人)		670	624	▲46
手術件数(件)		700	617	▲83
分娩件数(件)		280	237	▲43
医療相談件数(件)		5,500	5,494	▲6

32年度目標	実績との比較
43.0	▲11.1
45.0	▲14.5
700	▲76
800	▲183
300	▲63
5,500	▲6

## P17 【経営指標に係る数値目標】

	計画	実績	比較
許可病床数(床)	140	199	59
稼働病床数(床)	140	127	▲13
1日平均入院患者数(人)	100	89	▲11
1日平均外来患者数(人)	630	608	▲22
病床利用率(%)	71.4	44.5	▲26.9
入院患者1日当り収入(円)	40,463	40,685	222
外来患者1日当り収入(円)	8,527	8,438	▲89
経常収支比率(%)	98.9	95.7	▲3.2
医業収支比率(%)	74.6	72.3	▲2.3
職員給与費比率(%)	58.9	60.5	1.6
材料費対医業収支比率(%)	21.6	23.0	1.4
収益収支：純損益(百万円)	▲45	▲183	▲138
一般会計繰入金(百万円)	1,581	1,598	17

32年度目標	実績との比較
140	59
140	▲13
112	▲23
680	▲72
80	▲35.5
41,275	▲590
8,785	▲347
104.3	▲8.6
82.2	▲9.9
54	6.5
20	3.0
182	▲365
1,497	101

- 注) 1. 病床利用率は稼働病床で記載  
2. 入院患者1日当り収入は急性期病床における金額を記載

## 【診療科及び医師数】

	計画	実績	比較
診療科(科)	14	14	0
常勤医師数(人)	20	21	1

32年度目標	実績との比較
14	0
22	▲1

注) 医師数には嘱託医師含む

## P18 【診療科医師状況】

診療科	区分	計画	実績	比較
内科	常勤	4	4	0
	嘱託	1	2	1
小児科	常勤	1	1	0
	嘱託			0
外科	常勤	3	2	▲1
	嘱託	1	1	0
整形外科	常勤	2	1	▲1
	嘱託		1	1
産婦人科	常勤	1	2	1
	嘱託	2	2	0
泌尿器科	常勤			0
	嘱託			0
耳鼻咽喉科	常勤	1	1	0
眼科	常勤			0
皮膚科	常勤	1	1	0
麻酔科	常勤	1	1	0
精神科	常勤	1	1	0
放射線科	常勤	1	1	0
循環器科	常勤			0
リハビリテーション科	常勤	整形外科 医師兼務	整形外科 医師兼務	整形外科 医師兼務
合計	常勤	16	15	▲1
	嘱託	4	6	2
	合計	20	21	1

32年度目標	実績との比較
4	0
1	1
1	0
	0
3	▲1
1	0
2	▲1
	1
1	1
2	0
1	▲1
	0
1	0
1	▲1
1	0
1	0
1	0
	0
18	▲3
4	2
22	▲1

	計画	実績	比較
助産師	11	12	▲1
看護師	76	73	▲3
准看護師	17	16	▲1
看護助手	8	7	▲1
看護職計	112	108	▲4
医療技術職員	41	41	0
事務職員	17	16	▲1

32年度目標	実績との比較
11	▲1
76	▲3
17	▲1
8	▲1
112	▲4
41	0
17	▲1

P21【収支計画】

① 収益的収支計画

(単位：百万円、%)

年度		30年度 (計画)	30年度 (実績)	比較
区 分				
収 入	1. 医 業 収 益 a	3,061	2,958	▲103
	(1) 料 金 収 入	2,680	2,566	▲114
	(2) そ の 他	381	392	▲11
	うち他会計負担金	218	234	▲16
	2. 医 業 外 収 益	1,139	1,149	▲10
	(1) 他会計負担金・補助金	1,076	1,078	▲2
	(2) 国 (道) 補 助 金	5	4	▲1
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	36	37	▲1
	(4) そ の 他	22	30	▲8
	経 常 収 益 (A)	4,200	4,107	▲93
支 出	1. 医 業 費 用 b	4,102	4,090	▲12
	(1) 職 員 給 与 費 c	1,803	1,791	▲12
	(2) 材 料 費	660	591	▲69
	(3) 経 費	1,355	1,421	▲66
	(4) 減 価 償 却 費	268	270	▲2
	(5) そ の 他	16	17	▲1
	2. 医 業 外 費 用	143	200	▲57
	(1) 支 払 利 息	69	68	▲1
	(2) そ の 他	74	132	▲58
	経 常 費 用 (B)	4,245	4,290	▲45
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲45	▲183	▲138	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)			0
	2. 特 別 損 失 (E)			0
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	▲45	▲183	▲138	
累 積 欠 損 金 (G)	5,852	6,056	204	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	467	510	▲43
	流 動 負 債 (イ)	1,227	1,433	▲206
	うち一時借入金	470	680	▲210
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)			0
	当 年 度 同 意 等 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (エ)			0
	差 引 不 良 債 務 (オ) {(イ)-(エ)} - {(ア)-(ウ)}	760	923	▲163
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	98.9	95.7	▲3.2	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	24.8	31.2	▲6.4	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	74.6	72.3	▲2.3	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	58.9	60.5	▲1.6	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 15 条 第 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)	292	447	▲155	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	9.5	15.1	▲5.6	
病 床 利 用 率	71.4	44.5	▲26.9	

32年度目標	実績との比較
3,406	▲448
3,019	▲453
387	5
224	10
1,042	107
999	79
5	▲1
16	21
22	8
4,448	▲341
4,144	▲54
1,839	▲48
682	▲91
1,359	62
248	22
16	1
122	78
58	10
64	68
4,266	24
182	▲365
	0
	0
0	0
182	▲365
5,690	366
511	▲1
879	554
200	480
	0
	0
368	555
104.3	▲8.5
10.8	20.4
82.2	▲9.9
54.0	6.6
0	447
0.0	15.1
80.0	▲35.5

(単位：百万円、%)

年 度		30年度 (計画)	30年度 (実績)	比較
区 分				
収	1. 企 業 債	103	65	▲ 38
	2. 他 会 計 出 資 金	287	286	▲ 1
	3. 他 会 計 負 担 金			
	4. 他 会 計 借 入 金			
	5. 他 会 計 補 助 金			
	6. 国 ( 道 ) 補 助 金		2	2
	7. そ の 他			
収 入 計 (a)		390	353	▲ 37
入	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)			
	前年度許可債で当年度借入分 (c)			
	純 計 (a)-{(b)+(c)} (A)	390	353	▲ 37
支	1. 建 設 改 良 費	103	67	▲ 36
	2. 企 業 債 償 還 金	487	485	▲ 2
	3. 他 会 計 長 期 借 入 返 還 金			
	4. そ の 他			
支 出 計 (B)		590	552	▲ 38
収 支 不 足 額 (B) - (A) (C)		200	199	▲ 1
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	199	198	▲ 1
	2. 利益剰余金処分額			
	3. 繰越工事資金			
	4. そ の 他	1	1	0
計 (D)		200	199	▲ 1
補てん財源不足額(C)-(D) (E)		0	0	0
当年度同意等で未借入 又は未発行の額 (F)				
実質財源不足額 (E) - (F)		0	0	0

32年度目標	実績との比較
70	▲ 5
274	12
	2
344	9
344	9
70	▲ 3
457	28
527	25
183	16
182	16
1	0
183	16
0	0
0	0

③ 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位：百万円)

年 度		30年度 (計画)	30年度 (実績)	比較
区 分				
収 益 的 収 支		(299)	(219)	(▲ 80)
		1,294	1,312	18
資 本 的 収 支		287	286	▲ 1
合 計		(299)	(219)	(▲ 80)
		1,581	1,598	17

32年度目標	実績との比較
(225)	(▲ 6)
1,223	89
274	(0)
274	12
(225)	(▲ 6)
1,497	101

注) ( ) 内は、基準外繰入金額

## P19【目標達成に向けた具体的な取り組み】

### ①地域住民との合意形成の推進

- ・病院ホームページをリニューアルし、情報公開のツール充実を行った。

### ②医師等の人材確保

#### ア. 医師の確保

- ・整形外科非常勤嘱託医師を1名採用。
- ・産婦人科嘱託医師を1名採用。

#### イ. 医療スタッフの確保

- ・看護師確保を図るため札幌市・美唄市の看護学校3ヶ所へ訪問しPRを行った。
- ・看護師確保を図るため9名に対し修学資金の貸付を行った。(貸付者 平成30年度:2名採用。)

## P20 ⑦経費の削減・抑制

### イ. 医療機器の計画的整備

- ・後年度の負担軽減を図るため計画時に6千万円の医療機械器具購入予定額としていたが、4千万円まで抑制できた。

### ウ. 医療材料の適正管理

- ・薬品・診療材料の適正管理に努めることにより、診療収入に占める材料費率が低下。(維持)  
(平成28年度:25.1% ⇒ 平成29年度:22.9% ⇒ 平成30年度:23.0%)
- ・診療材料の管理・払い出しについて、委託化の検討を行った。  
(平成31年3月より研修を行い、平成31年4月より委託を開始する。)

## 【町立中標津病院運営委員会からの意見・提言】

- ① 看護師確保を行うために、修学資金貸付制度のPRを積極的に行ってほしい。
- ② 病院のホームページに、急を要する情報(保健所等から通知される感染症(ノロウイルス・インフルエンザ等)の情報等。)を即座に掲載するのもサービスの1つであるため対応を願いたい。
- ③ 町立中標津病院を身近な病院と感じられるよう、町民に向けた講演会等の取組を行ってほしい。